

< 「過ぎてしまえば一番幸せ」期：「ワクワク・ドキドキ」編 - 3 >

対象(時間): 小学1~3年生の親(120分程度)

みなおして！ ~多様な視点から子どもを見る~

【ねらい】多様な視点から見ることにより、心に余裕が生まれることに気づく。

【準備物】学習者：筆記用具

主催者：名札、ワークシート、アンケート用紙

時間	アクティビティの展開	留意点	備考
:	名札付け(来た順に)	全員が名札をつける。(ニックネーム可) 男女混合が良いのか、男女別が良いのかは、あらかじめ決めておく。	スケジュールを板書しておく。 ・机は講義形式
: (5分)	ファシリテーター(学習支援者) 自己紹介, 主旨・ルール等説明	和やかな雰囲気づくりに配慮する。 写真を撮る場合は、予め了解を取る。(肖像権)	
: (10分)	アイスブレイク(雰囲気づくり) 「負け負けじゃんけん」 ペアになり、じゃんけんでは先に出す方を決める。 じゃんけんぼんで、先手は先に出す。後手はそれに勝つものを出す。(1分間続ける。) 次に、後手は負けるものを出す。(1分間続ける。) 先手交代し、同様に。 勝つのと負けるのと、さてどっちが難しかったですか。	初対面の人同士の場合、自由に意見を出し合うためのウォーミングアップとする。 じゃんけんは相手に勝とうとするもの。「固定観念(おもいこみ)」をひっくり返す面白さ、難しさを、楽しく体験する。 必要に応じて、最後に数グループに分ける。 グループ内で自己紹介をしている間に、ワークシートを配付する。	・机を撤去 ・グループ数に応じて、机を配置
: (5分)	<エピソードを読みましよう> P2 黙読	配役を決めて、読み合わせてもよい。 情景が思い浮かぶまで読みこむ。	
: (55分)	<考えましよう, 出し合いましよう> P2,3 設問に記入(10分) 意見交換(45分)	一つの設問ごとに、答を発表し合う。 時間を取ってゆっくり書いてもらう。 三つの約束(発言の平等, 人の発言を肯定, 秘密の保守), ただし、言いたくないことは発表しなくてもよい。(パス有り)	
: (25分)	<さらに考えましよう> P3, P4 P3の文章をゆっくり朗読(5分) 全体で意見交換(5分) P4の設問に記入(3分) 全体で発表・意見交換(12分)	時間があれば、県民の声も読む。(県民の声は必ずしも「模範解答」ではなく、いろんな意見があるということを示すためのもの)	
: (15分)	<学習を振り返りましよう> ワークシートへの記入 ファシリテーターの話		
: (5分)	終了・片付け アンケート記入	参加者全員で行う。 アンケート記入者から流れ解散	・現状復帰

メモ